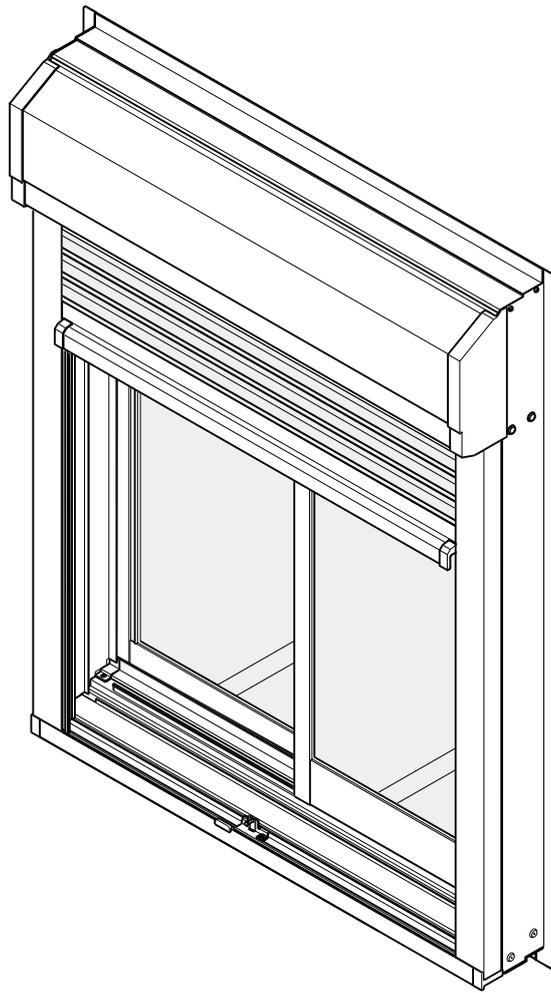


# サーモス シャッター付引違い窓 イタリヤ(電動タイプPRS仕様)

## 取扱い説明書



### ご使用にあたって

この説明書では、お施主さまが商品を安全に正しくご使用いただくための取扱い方法やお手入れ方法などの重要な内容を記載しております。

ご留意いただくとともに、大切に保管してください。

# 目次

■重要なお知らせ	1
■警告用語の種類と意味	1
■特に注意していただきたいこと	2~5
注意	2
お願い	3・4
ご使用にあたっての留意事項	5
■各部のなまえとはたらき	6
■ご使用前の確認事項	7
プレッシャーリターンセンサーとは	7
■壁スイッチのなまえとはたらき	8
■操作のしかた	9
壁スイッチの操作のしかた	9
■連窓方立の取外し方・取付け方	10
■ロック機構の使い方	11
1.ロックとは	11
2.幅木ロックの操作のしかた	11
■異常表示の原因と解除のしかた	12
赤の速い点滅	12
赤の遅い点滅	12
緑の遅い点滅	12
■停電時開閉機構の使い方	13・14
1.停電時開閉機構とは	13
2.開閉のしかた	13
3.電動復帰のしかた	14
■点検とお手入れ	15・16
点検	15
プレッシャーリターンセンサーの作動点検	15
お手入れ	16
■シャッターが動かない場合	17
シャッターが動かない場合	17
■アフターメンテナンスについて	18
■商品保証について	19

# 重要なお知らせ

ご使用の前に

●安全のために、必ずお守りください。

ご使用およびお手入れを行う場合は、必ずこの取扱い説明書にしたがってください。  
なお、この取扱い説明書にしたがわず、乱用又は誤用によって、ケガおよび損害が発生した場合は、当社およびその販売会社に責任はないものといたします。

- 1.この取扱い説明書の記載事項の他にも、あらゆる危険が想定されます。したがって、ご使用およびお手入れの際は、この取扱い説明書の記載事項に限らず、安全対策に関して十分な配慮が必要です。
- 2.この取扱い説明書は著作権を有し、その権利は留保されています。
- 3.商品のお問い合わせについては、下記の窓口までご連絡ください。

問合わせ事項	連絡先	TEL
商品全般	お客さま相談センター	☎0120-126-001
修理のご依頼	LIXIL修理受付センター	☎0120-4134-33

## 警告用語の種類と意味

この章では、使用する場合に守るべき安全事項を説明しています。

●この取扱い説明書では、危険度の高さ(又は事故の大きさ)にしたがって、次の2段階に分類しています。以下の警告用語が持つ意味をよく理解し、本書の内容(指示)にしたがってください。

警告用語	意 味
 <b>注意</b>	取扱いを誤った場合に、使用者などが中程度の傷害・軽傷を負う危険又は物的損害の発生が想定されます。
<b>お願い</b>	特に注意を促したり強調したい情報で、指示にしたがわないと機器の損傷・故障などにつながる場合があります。

# 特に注意していただきたいこと

(安全のため、必ずお守りください)

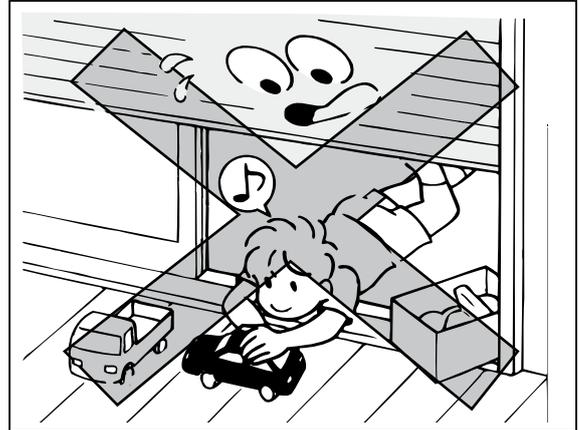
※ご使用の際は商品に張ってあるラベルもよくお読みの上、正しくご使用ください。

## ⚠ 注 意

- 開閉の際には周囲に人・物がいないことを確かめてから開閉してください。

挟まれてケガをしたり、物を挟んだりするおそれがあります。

挟まれた場合は、ただちに停止スイッチを押してシャッターを停止させ、開スイッチを押してシャッターを巻き上げてから取除いてください。



- 開閉中は開閉位置に顔や手を出さないでください。挟まれてケガをするおそれがあります。

- 開口の下部はプレッシャーリターンセンサーが感知出来ない範囲（不感知帯〔水切りより200mm程度〕）が出ます。この範囲に物が無いことを確認してから作動させてください。挟まれてケガをしたり、物を挟んだりするおそれがあります。

- プレッシャーリターンセンサーの点検時に、シャッターの下降が停止しない、シャッターが自動的に上昇しないなどありましたら壁スイッチの停止スイッチを押して、ただちにシャッターを停止させ、開スイッチを押してシャッターを巻き上げてください。事故・故障の原因になります。

- プレッシャーリターンセンサーを点検するときは、シャッター周辺に手をふれないでください。シャッターと窓枠の間に手を挟まれてケガをするおそれがあります。

- 改造しないでください。特にモーターおよびスイッチの改造・配線の変更は事故・故障の原因となります。

- 点検口を開けて内部の部品を触らないでください。思わぬケガをしたり、作動不良の原因になったりするおそれがあります。

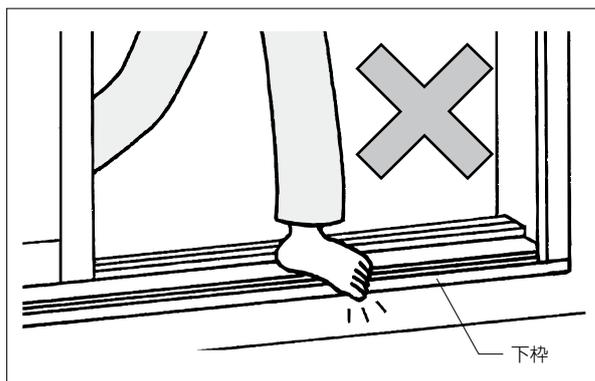
- 連窓方立の取付け後に、落とし錠のレバー部「閉」刻印が半分かくれるまでレバーを下げて、落とし錠受けに固定されていることを確認してください。固定されていない場合、脱落し人身事故や物損事故につながります。

## お願い

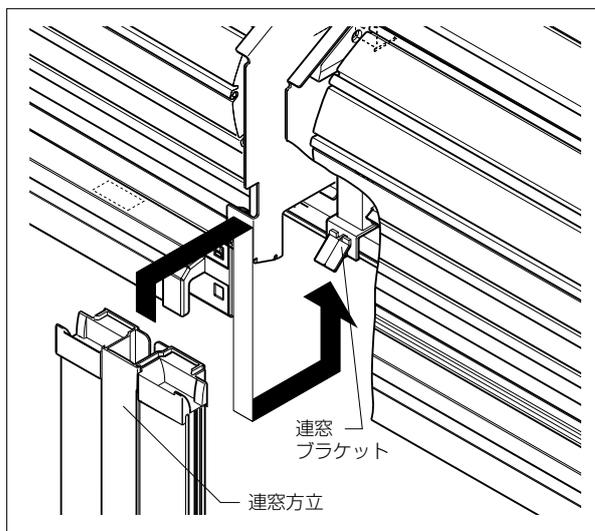
- 短時間で繰り返し開閉しないでください。保護装置がはたらき、一定時間動作が停止することがあります。(故障ではありません)  
10～15分程度時間をおくと、再び開閉できます。
- シャッターは少なくとも1カ月に2～3回開閉をしてください。長期間動かさないとスムーズに作動しなくなるおそれがあります。
- シャッターを無理に引っ張ったり、押上げたりしないでください。思わぬケガをしたり、作動不良の原因になったりするおそれがあります。
- おやすみ又は外出の際は、安全のため、シャッターを閉めてロックを施錠してください。又、必ず内側のサッシも施錠してください。強風・雨の際もきちんと施錠してください。
- ロックを施錠したまま、シャッターを開ける操作をすると、シャッターが破損するおそれがあります。必ず解錠してから開閉操作をしてください。
- シャッターボックスに、はしごをかけたり、上にのったりしないでください。変形および故障、転落や負傷につながります。
- シャッターボックスに雪が30cm以上積もった場合は、必ず取除いてください。変形および故障につながります。又、その際は足場をしっかりと確保して作業してください。転落・負傷するおそれがあります。
- シャッターが凍結したときは、必ず溶けてから操作してください。無理な作動は故障や破損の原因になります。
- 故意にシャッターボックス内に水をかけないでください。電子部品や駆動装置が組込まれていますので、故障の原因になります。
- 壁スイッチは濡れた手で操作しないでください。
- 下枠やガイドレール内部は常に清掃し異物などがないようにしてください。誤作動の原因になります。

## お願い

- 下枠先端部にのったり、重量物をのせたりしないでください。無理な重さをかけると破損の原因になります。



- 連窓方立の上部が連窓ブラケットに差込まれていることを確認してください。差込まれていない場合、脱落し人身事故や物損事故につながります。



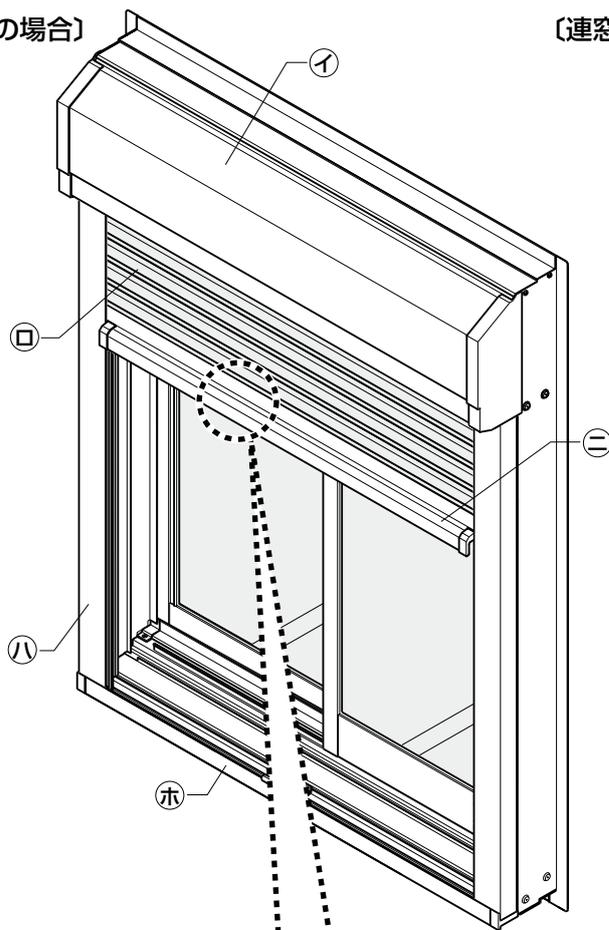
……ご使用にあたっての留意事項 ……

- ※シャッターを閉めた状態でも、スラットの内側が濡れることがあります。これはスラットの表面に横向きの風雨が当たった場合、スラットの表面から内側に水が伝わる為です。品質に問題ありませんので、安心してお使いください。
- ※スラットの表面が、雨などに濡れていると開閉後にスラット内側に水滴が付くことがあります。これはシャッターを巻上げると、スラットの表面と内側が重なるため表面についた水が内側につく為です。
- ※過負荷を検出して停止するという構造になっています。商品の特性上、シャッター全閉時にスラットを下に押付けた状態で停止するため、スラットが波打った状態になります。(故障ではありません。)品質に問題ありませんので、安心してお使いください。
- ※開閉途中で引っ掛かるような動きをすることがあります。これは電動モーターの出力とシャッターのスラット重量を、巻取り軸に内蔵のスプリング力でバランスをとりながら開閉するという商品の特性上発生します。品質に問題ありませんので、安心してお使いください。
- ※シャッター全開時にスラットの巻き締まりを軽減するリリース動作を行うことがあります。品質に問題ありませんので、安心してお使いください。
- ※開口下部でスラットのたわみを減らすリリース動作を行います。品質に問題ありませんので、安心してお使いください。
- ※通電中に手動開閉操作を行わないでください。全開位置がずれて途中で停止したり、全閉位置がずれて反転したりすることがあります。通電中に手動開閉操作を行った場合は、P.14を参照して復帰してください。
- ※風が強い場合は、サッシを閉めてから開閉操作を行ってください。シャッターが途中で停止するおそれがあります。
- ※シャッターを閉めても各部のすき間から、外からの光が入ることがあります。さらに光をさえぎる場合は、遮光カーテンなどをご使用ください。
- ※シャッターを閉めた状態で、強風によりスラットがバタつき、音がしたりすることがありますが異常ではありません。

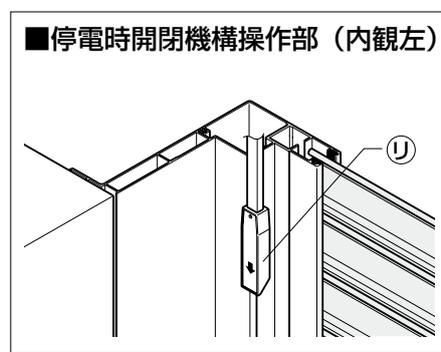
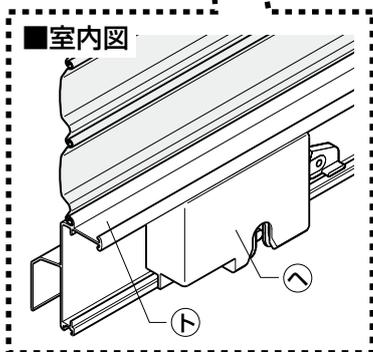
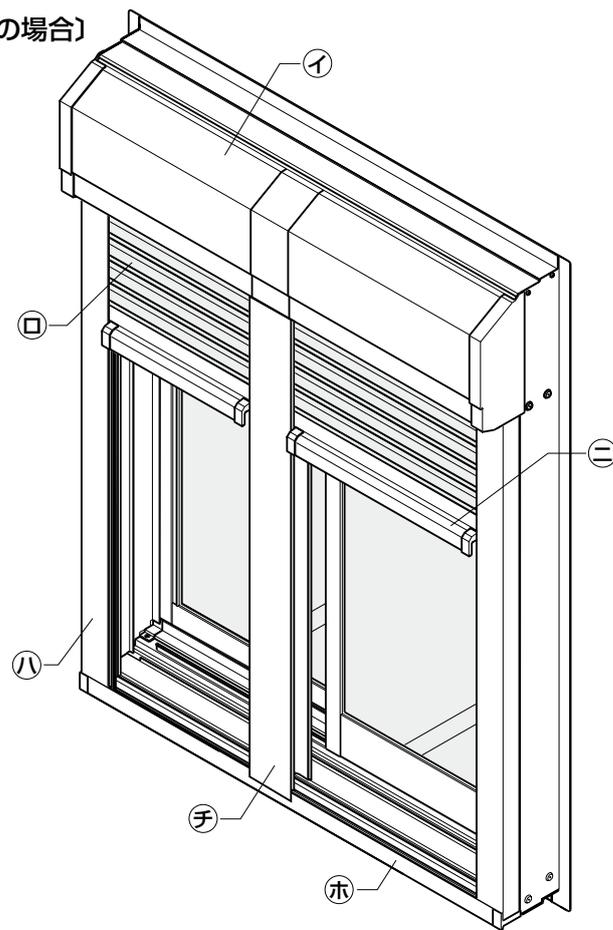
# 各部のなまえとはたらき

この章では、本体の各部のなまえとはたらきを説明します。

〔単窓の場合〕



〔連窓の場合〕



## ●各部のなまえとはたらき

記号	なまえ	はたらき
イ	シャッターボックス(点検口)	スラットおよびモーターなどを収納する部分です。モーターなどの点検口です。
ロ	スラット	カーテン部分です。
ハ	ガイドレール	両側にあり、スラットの動きを誘導します。
ニ	幅木	スラットの最下部で、防犯性を高める幅木ロックが組込まれています。
ホ	下枠	底の部分で、雨水などを流します。
ヘ	幅木ロック	おやすみや外出するとき使用します。
ト	手掛け	手動開閉のとき使用します。
チ	連窓方立	連窓中央部にあり、スラットの動きを誘導します。
リ	ハンドル	停電時開閉機構の操作用です。

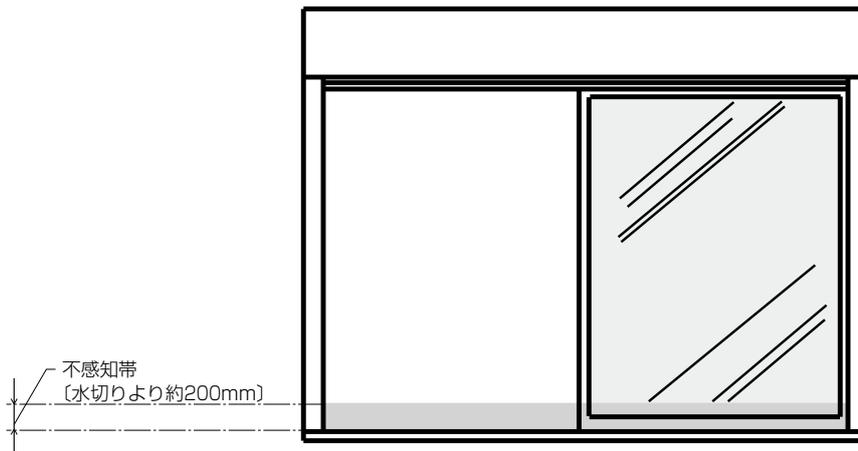
# ご使用前の確認事項

## プレッシャーリターンセンサーとは

- シャッター下降中、幅木が物を挟むと、シャッターは停止し、自動で反転上昇し全開します。この機構をプレッシャーリターンセンサーといいます。

### お願い

- プレッシャーリターンセンサーは一定の負荷を検出して、停止・反転する構造です。サイズや障害物の位置によっては、検出するまでに時間がかかる場合があります。その場合、検出し、反転するまでの間、モーターが回り続けるため、ボックス内でスラットの巻きだるみが発生します。巻きだるみが発生した状態で障害物を取除くと、スラットがずり落ちてくることがありますので、開スイッチを押してシャッターを巻き上げてから障害物を取除いてください。
- 開口の下部はプレッシャーリターンセンサーが感知できない範囲（不感知帯〔水切りより約200mm程度〕）が出ます。この範囲に物が無いことを確認してから作動させてください。



- ※閉ランプ（緑）が点滅している場合、最初の開閉は全域で反転しません。全閉位置で止まる時、幅木が水切りに強く当たり、少し反転して止まります。プレッシャーリターンセンサーは作動しません。
- ※閉ランプ（緑）の点滅解除方法は、シャッターを全開位置まで動作させてください。

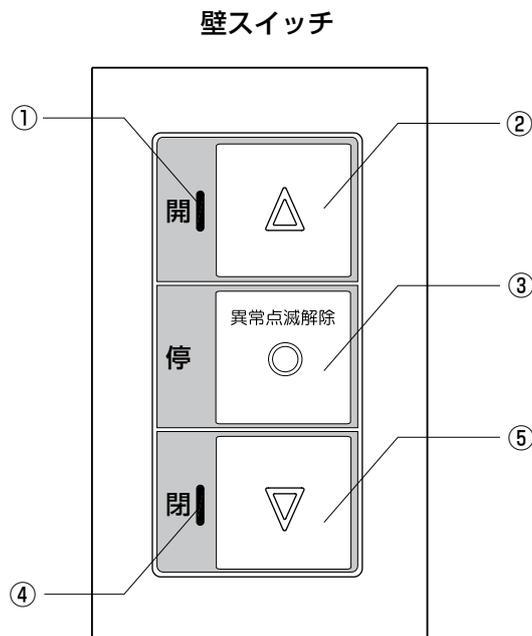
## ⚠ 注意

- 開閉の際には周囲に人・物が無いことを確かめてから開閉してください。挟まれてケガをしたり、物を挟んだりするおそれがあります。挟まれた場合は、直ちに停止スイッチを押してシャッターを停止させ、開スイッチを押してシャッターを巻き上げでから取除いてください。
- 開閉時は開閉位置に顔や手を出さないでください。挟まれてケガをするおそれがあります。

# 壁スイッチのなまえとはたらき

## ■壁スイッチ

●操作のしかたはP.9「■操作のしかた」をご参照ください。



## ●壁スイッチのなまえとはたらき

番号	なまえ	はたらき
①	開ランプ (赤)	シャッターが全開または途中停止の場合、点灯します。 (少しでも開いていると消灯しません。) 以下の状況を感じると、点滅します。 ・プレッシャーリターンセンサーが異常を検知した場合。 ・シャッターの動作中に幅木にぶらさがった場合。 ・ロックをかけたまま、シャッターを操作した場合。 ・手動開閉状態でスイッチを操作して、約1分モーターを連続動作させた場合。 ・連続して開閉した場合。 ・通電中に手動開閉操作をし、途中位置で電動操作に切替えてシャッターを開閉した場合。
②	開スイッチ	シャッターが上昇します。
③	停止スイッチ	シャッターが途中停止します。 開ランプ (赤) の点滅を解除します。
④	閉ランプ (緑)	シャッターが全閉の場合、点灯します。 以下の状況を感じると、点滅します。 ・1度停電して復帰した場合。 ・全開、全閉しないで5回連続動作させた場合。
⑤	閉スイッチ	シャッターが下降します。

※開・閉スイッチを同時に操作した場合は、停止スイッチと同じはたらきをします。

# 操作のしかた

この章では、操作のしかたについて説明しています。

## 壁スイッチの操作のしかた

### ▲ 注 意

- 開閉の際には、周囲に人・物のないことを確かめてから開閉してください。挟まれてケガをしたり、物を挟んだりするおそれがあります。
- 開閉中は、開閉位置に顔や手を出さないでください。挟まれてケガをするおそれがあります。

### ■壁スイッチの操作のしかた

#### 1 開ける場合

- 開スイッチ②を押してください。
  - ・シャッターが上昇し、開ランプ(赤)①が点灯します。
  - ・シャッターを全開または途中で止めたとき、開ランプ(赤)①が点灯します。

#### 2 閉める場合

- 閉スイッチ⑤を押してください。
  - ・シャッターが下降します。
  - ・シャッターが全閉のとき、閉ランプ(緑)④が点灯します。

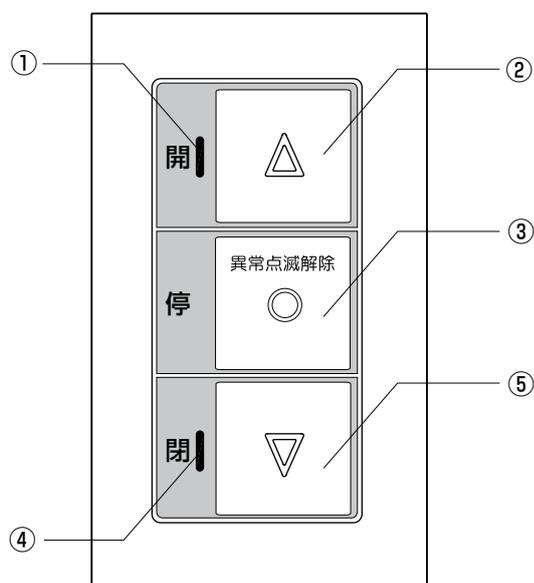
#### 3 途中で止める場合

- 停止スイッチ③を押してください。
  - ・シャッターが途中停止し、開ランプ(赤)①が点灯します。

※壁スイッチはしっかり押してください。

押し方がゆるい場合、シャッターが反応しないことがあります。

壁スイッチ



### ●壁スイッチのなまえ

番 号	なまえ
①	開ランプ (赤)
②	開スイッチ
③	停止スイッチ
④	閉ランプ (緑)
⑤	閉スイッチ

# 連窓方立の取外し方・取付け方

## ▲ 注 意

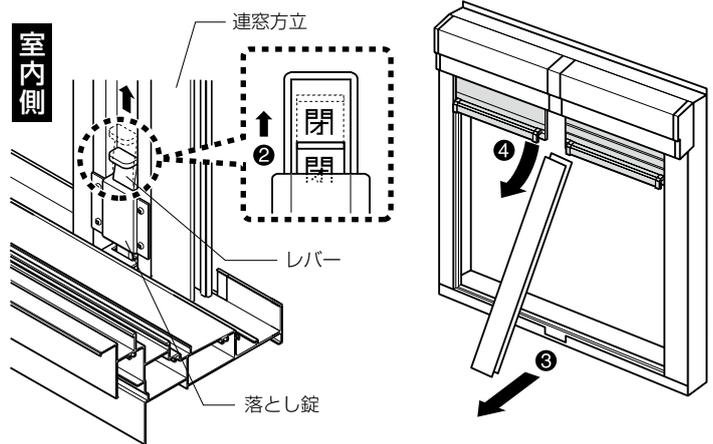
- 連窓方立の取付け後に、落とし錠のレバー部『閉』刻印が半分以上かくれるまでレバーを下げ、落とし錠受けに固定されていることを確認してください。固定されていない場合、脱落して人身事故や物損事故につながります。

## お願い

- 連窓方立の上部が連窓ブラケットに差込まれていることを確認してください。差込まれていない場合、脱落して人身事故や物損事故につながります。

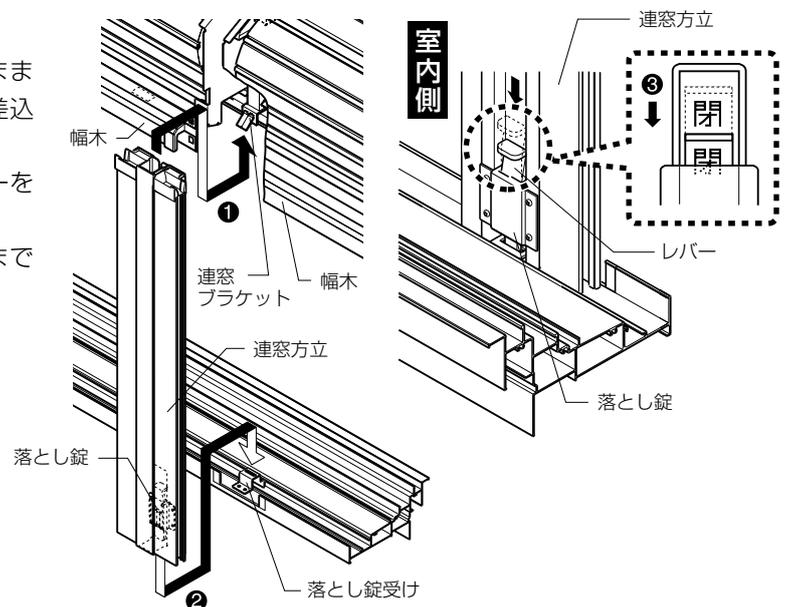
### ■「連窓方立」の取外し方

- ①シャッターを開けた状態にします。
- ②連窓方立の室内側下部についている落とし錠のレバーを上げます。
- ③連窓方立の下部を室外側に押し出します。
- ④連窓方立を下方向に下げて、上部から引抜きます。



### ■「連窓方立」の取付け方

- ①連窓方立の上部に左右の幅木を差込みます。そのまま連窓方立を押し上げ、その上部を連窓ブラケットに差込みます。
  - ②連窓方立の下部を室内側に引込み、落とし錠のレバーを下げ、落とし錠受けに固定します。
- ※落とし錠のレバー部『閉』刻印が半分以上かくれるまでレバーを下げ、落とし錠受けに固定します。



# ロック機構の使い方

この章では、ロックの操作のしかたについて説明しています。

## 1

### ロックとは

- 自動ロック機構を装備していますが、おやすみ、外出時の防犯性を高めるため、手動式の幅木ロックを用意しています。

#### お願い

- おやすみ又は外出の際は、安全のため、シャッターを閉めてロックを施錠してください。又、必ず内側のサッシも施錠してください。強風・雨の際もきちんと施錠してください。

## 2

### 幅木ロックの操作のしかた

#### ■幅木ロックの施錠方法

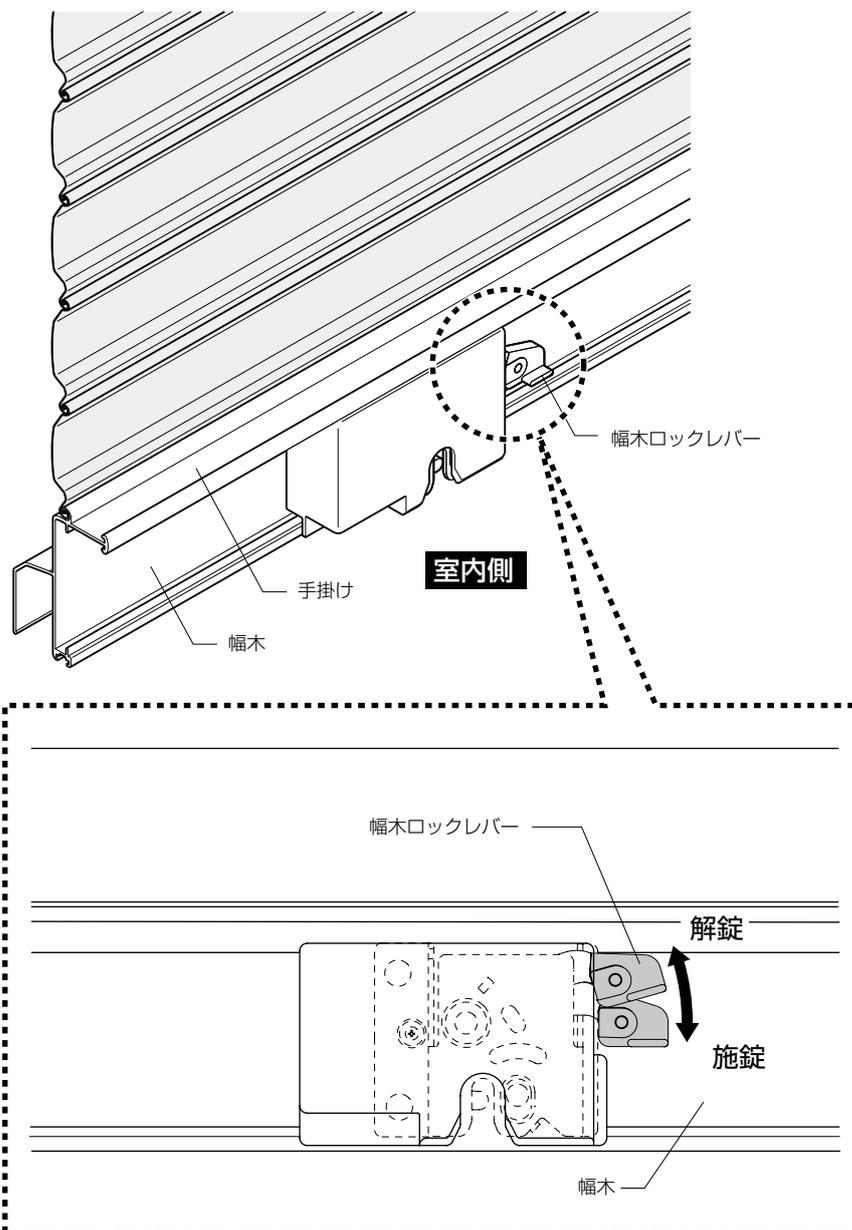
- ①シャッターを全閉にします。
- ②幅木の手掛けを下に押付けながら、幅木ロックレバーを施錠側に倒します。

#### ■幅木ロックの解錠方法

- 幅木ロックレバーを解錠側に倒します。

#### お願い

- ロックを施錠したまま、シャッターを開ける操作をすると、シャッターが破損するおそれがあります。必ず解錠してから開閉操作をしてください。



# 異常表示の原因と解除のしかた

異常を感知した場合、開ランプ（赤）、閉ランプ（緑）が点滅します。  
この章では、異常表示の原因と解除のしかたについて説明しています。  
※異常表示の原因と解除のしかたについては、携帯電話からもご確認いただけます。  
但し、携帯電話の機種によってはご確認いただけない場合があります。  
※動画の容量が大きいので、パケット通信料が高額になりますので、ご注意ください。

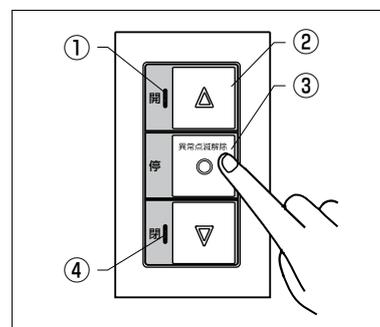
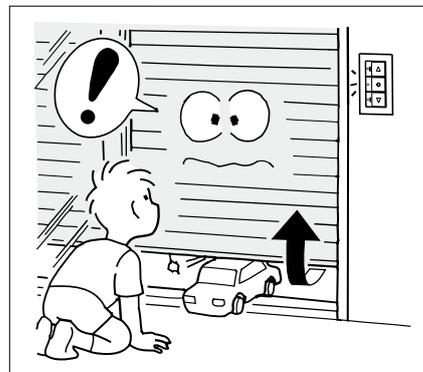
異常時対応方法



## 赤の速い点滅（連続点滅）

■開ランプが赤の速い点滅をするのは以下の原因が考えられます。  
（故障ではありません。）

- シャッター下降中に、幅木が異物（人・物など）を感知した場合  
→シャッターは停止し、自動で上昇して全開で停止します。  
（シャッター周辺に異物（人・物など）がないか確認し、取除いてください。）
- シャッター上昇中に幅木にぶらさがった場合  
→シャッターはその場で停止します。
- ロックをかけたまま、シャッターを操作した場合  
→シャッターはその場で停止します。1度全閉にしてからP.11「ロック機構の使い方」を参照して、ロックを解錠してください。
- 強風時に開閉した場合→開時は停止し、閉時は反転上昇します。
- 手動開閉状態でスイッチを操作して、約1分モーターを連続動作させた場合  
→シャッターは動きません。
- 通電中に手動開閉操作をし、途中位置で電動操作に切替えてシャッターを全閉にした場合  
→下枠に当たった後、自動で上昇して全開で停止します。
- 通電中に手動開閉操作をし、途中位置で電動操作に切替えてシャッターを全開にした場合  
→上枠に当たった後、全開で停止します。



■開ランプ(赤)速い点滅の解除のしかた

- 停止スイッチ③を押してください。開ランプ(赤)①の速い点滅を解除します。解除後、閉ランプ(緑)④が遅い点滅をする場合は、開スイッチ②を押し、シャッターを全開にしてください。開ランプ(赤)①の点灯が変わります。

■強風時に異常表示（開ランプ(赤)速い点滅）した場合の操作のしかた

- 障子を閉め、異常表示を解除した後に開閉してください。  
それでも異常を表示する場合は、異常表示を解除せず開または閉スイッチを押し続けてください。それでも停止する場合は、動作させないでください。異常表示は操作終了後、解除してください。

## 赤の遅い点滅

■開ランプが赤の遅い点滅をするのは以下の原因が考えられます。（故障ではありません。）

- 連続して開閉した場合（モーター保護装置が働いてシャッターは動きません。）  
→10～15分程度休ませてから開閉してください。

■開ランプ（赤）遅い点滅の解除のしかた

- 停止スイッチ③を押してください。開ランプ(赤)①の遅い点滅を解除します。または5分経過すると、自動で点滅が解除します。点滅は解除しますが、開もしくは閉スイッチを押し、再度点滅する場合は10～15分程度休ませてから開閉してください。

## 緑の遅い点滅

■閉ランプが緑の遅い点滅をするのは以下の原因が考えられます。（故障ではありません。）

- 1度停電して復帰した場合
- 全開、全閉しないで5回連続して動作させた場合

■閉ランプ（緑）遅い点滅の解除のしかた

- シャッターがどの位置であっても、開スイッチ②を押し、シャッターを全開にしてください。開ランプ（赤）①の点灯が変わり通常動作に戻ります。

全閉時、サイズにより幅木と下枠の間にすき間が発生することがありますが、再度全開、全閉にするとすき間はなくなります。

# 停電時開閉機構の使い方

この章では、停電時開閉機構の使い方について説明しています。

## 1

### 停電時開閉機構とは

- 電動式シャッターですが、手動でも開閉できます。

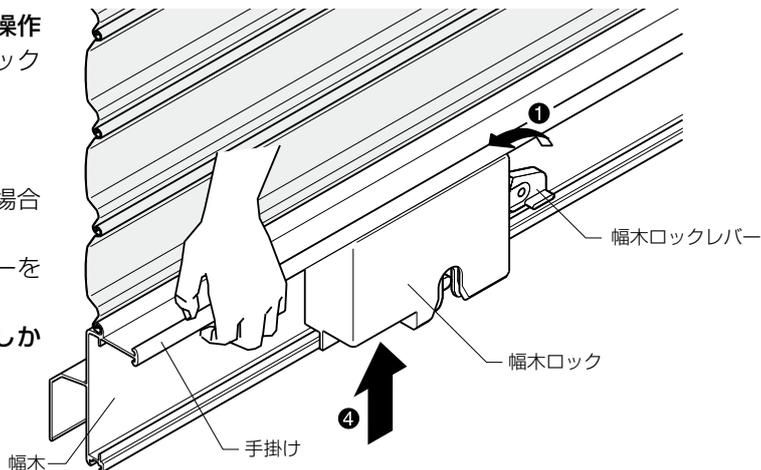
#### お願い

- 非常時にも必ず開閉できるよう、「開閉のしかた」にしたがって1年に1回程度作動確認をしてください。

## 2

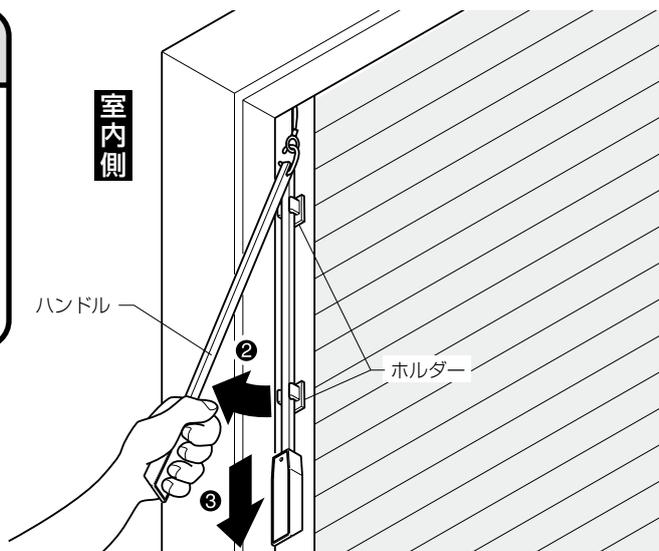
### 開閉のしかた

- ①サッシの障子を開き、P.11「2.幅木ロックの操作のしかた」を参照して、幅木ロックの幅木ロックレバーを解錠します。
  - ②ハンドルをホルダーから外してください。
  - ③ハンドルを下方に引いてください。  
(ハンドルを下方に引くと大きな音が発生する場合がありますが、故障ではありません)
  - ④そのまま幅木の手掛けを持ち上げ、シャッターを開けます。
- ※電動操作への復帰は、P.14「3.電動復帰のしかた」を参照して、復帰操作をしてください。



### 注意

- 開閉位置に人・物のないことを確かめてから開閉してください。挟まれてケガをしたり、物を挟んだりするおそれがあります。
- 開閉中には、顔や手を出さないでください。挟まれてケガをするおそれがあります。

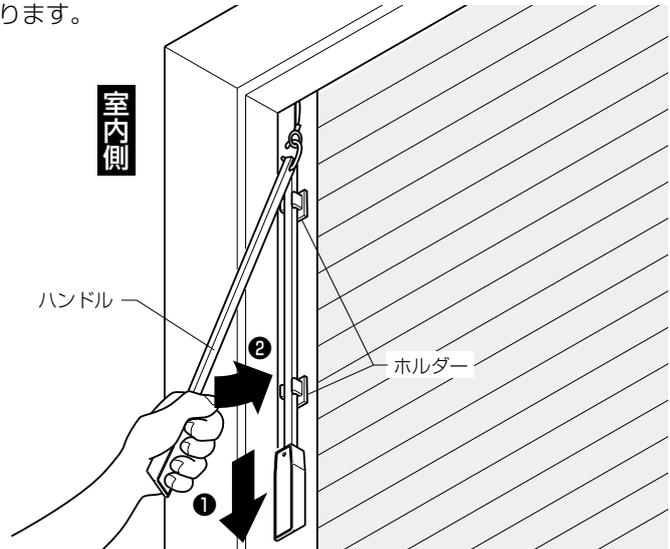


# 3

## 電動復帰のしかた

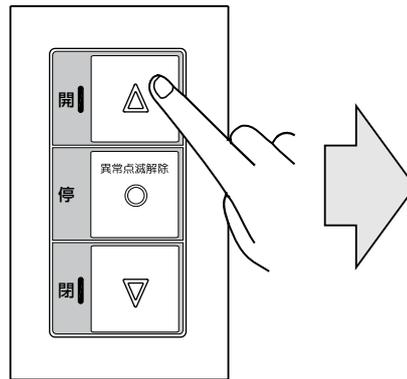
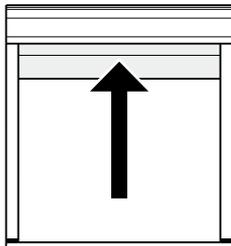
●停電時開閉機構を使った場合、以下の操作にて電動復帰を行ってください。

- ①ハンドルを下方に引いてください。電動開閉に戻ります。
- ②ハンドルをホルダーに固定してください。

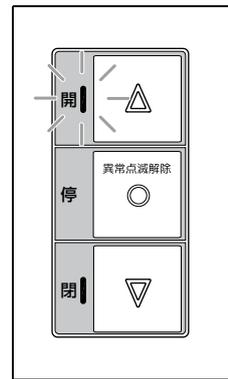


- ③開スイッチを押し、シャッターを全開にしてください。閉ランプ（緑）の点滅が開ランプ（赤）の点灯に変わり、通常動作に戻ります。

※シャッターが全開や途中で停止しても、本操作を行ってください。



開スイッチを押します。



開ランプが点灯します。

## 通電中に手動開閉操作をし、電動操作に切替えた場合の対応

■通電中に手動開閉操作をし、電動操作に切替えた場合に以下の操作を行ってください。  
(故障ではありません。)

- 全開位置からシャッターを下げ、途中位置で電動操作に切替えた場合  
→閉スイッチを押し、シャッターを少し下げた後、開スイッチを押し、シャッターを全開にしてください。
- 途中位置からシャッターを開閉して、電動操作に切替えた場合  
→開スイッチを押し、シャッターを全開にしてください。全開になると赤の速い点滅をします。赤の速い点滅を解除してから閉スイッチを押し、シャッターを全閉にしてください。
- 全閉位置からシャッターを上げて、途中位置で電動操作に切替えた場合  
→開スイッチを押し、シャッターを少し上げた後、閉スイッチを押し、シャッターを全閉にしてください。

# 点検とお手入れ

この章では、操作をする場合に守るべき安全事項を説明しています。

## 点検

- 少なくとも1カ月に2～3回開閉をしてください。長期間動かさないとスムーズに作動しなくなるおそれがあります。
- 安全にご使用いただくため下記の点検を行ってください。  
点検を行って、作動不良や異常がありましたら、お買い求めの工務店、販売店又はLIXIL修理受付センターへご連絡ください。
- プレッシャーリターンセンサーの点検を行う場合は、必ず「プレッシャーリターンセンサーの作動点検」の手順にしたがってください。本手順にしたがわない場合、事故のおそれがあります。

### ●点検個所

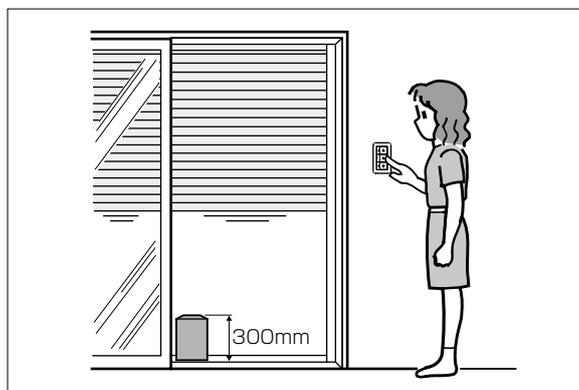
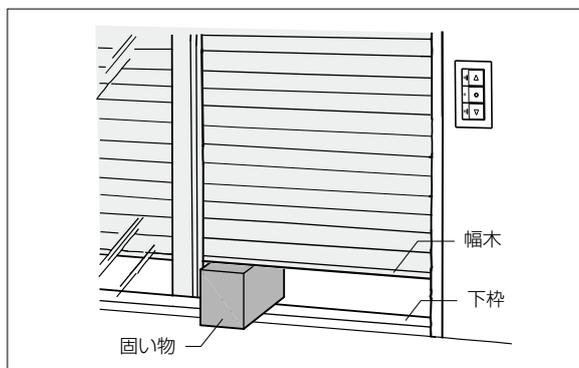
番号	点検部分	点検内容
①	ガイドレール部 スラット部	作動がスムーズに行えないような傷や曲がりなどの変形・異常な音はないか。
②	プレッシャーリターン センサーの作動	プレッシャーリターンセンサーが作動するか本章の点検手順にしたがってください。
③	停電時開閉	P.13「 <b>■停電時開閉機構の使い方</b> 」にしたがい、手動で開閉できるか。

## プレッシャーリターンセンサーの作動点検

### ⚠ 注意

- プレッシャーリターンセンサーを点検するときは、シャッター周辺に手をふれないでください。  
シャッターと窓枠の間に手を挟まれてケガをするおそれがあります。
- プレッシャーリターンセンサーの点検時に、シャッターの下降が停止しない、シャッターが自動的に上昇しないなどありましたら壁スイッチの停止スイッチを押して、ただちにシャッターを停止させ、開スイッチを押してシャッターを巻き上げてください。事故・故障の原因になります。

- ①シャッターを全開にしてください。
  - ②下枠中央に高さ300mm程度の固い物を置いてください。  
※開口上部で実施しないでください。スラットの巻きだるみが発生し、スラットが破損する場合があります。
  - ③壁スイッチの閉スイッチを押してください。  
→シャッターが下降します。
  - ④シャッターが固い物に当り、下降が停止し自動的に上昇し全開で停止します。  
※壁スイッチは開ランプ（赤）が点滅しますので、停止スイッチを押して解除してください。
  - ⑤シャッターが全開停止していることを確認してから下枠の上の固い物を取除いてください。
  - ⑥シャッターが以下の状態のとき、お買い求めの工務店、販売店または当社お客さま相談センターへ連絡してください。  
→シャッターの下降が停止しない。  
→シャッターが自動的に上昇しない。
- ※5回連続して行くと、閉ランプ（緑）が点滅します。解除方法は、P.12「**■異常表示の原因と解除のしかた**」を参照してください。

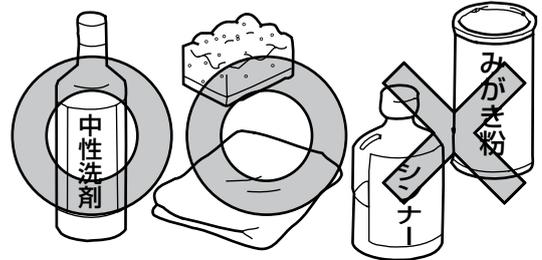


## お手入れ

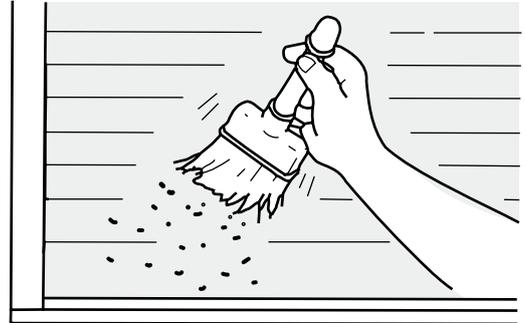
- アルミニウムおよび鋼板で作られています。表面に付いたゴミ・ホコリ・砂・雨水などは、しみ、腐食、作動不良などの原因になりますので定期的に掃除してください。
- 下枠やガイドレール内部は常に清掃し、異物などがないようにしてください。作動不良や破損するおそれがあります。
- 長期間、清掃しないままにしておきますと、表面やガイドレール内部に付着した汚れは、しみ、腐食、作動不良などの原因になります。汚れが軽いうちに清掃してください。清掃の目安は、少なくとも月に1回程度です。  
特に海岸地帯や交通量の多い道路沿いは、塩分や排気ガスによる汚損が進みやすいので、こまめにお手入れしてください。

### お願い

- お手入れには柔らかい布・スポンジを使用し、金属製ブラシ・金べらなどを使用しないでください。
- 洗剤は、必ず中性のものを使用してください。



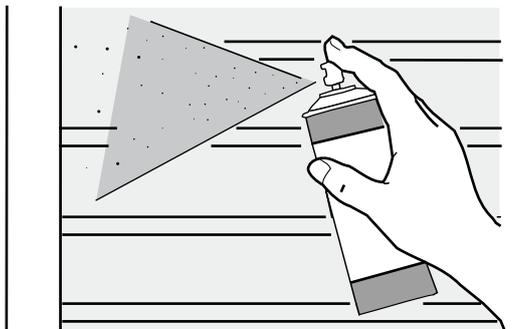
- ①表面に付いたゴミ・ホコリ・砂・雨水などを取除いてください。
- ②下枠やガイドレール内部に付いたゴミ・ホコリ・砂・雨水などをふき取ってください。隅の方は、歯ブラシ・洋服ブラシなどで掃除してください。



- ③以下の要領で汚れを落としてください。  
〔あまり汚れがひどくない部分〕  
・ぞうきんで水ぶきした後、からぶきしてください。  
〔特に汚れがひどい部分〕  
・うすめた中性洗剤で汚れを落とし、洗剤が残らないようぞうきんでよく水ぶきした後、からぶきしてください。



- ④鋼板部にサビがでた場合  
・まず、目の細かい紙ヤスリなどでサビを完全に落とします。次に、市販のスプレー式ラッカーを吹付けてください。そのとき、スラットのかみ合っている部分などの可動部にかからないように注意してください。



# シャッターが動かない場合

ここでは、故障の見分け方および、故障やご使用上でご不明な点の連絡先について説明します。

シャッターが動かない場合、壁スイッチの停止スイッチを押してから、下表「シャッターが動かない場合」にしたがってください。

## シャッターが動かない場合

ここをお調べください	処置のしかた	参照ページ
停電していませんか？	停電が終わるまでお待ちください。 停電復帰後、「■異常表示の原因と解除のしかた」を参照してください。	P.12
ブレーカーが落ちていませんか？	ブレーカーをセットしてください。 ブレーカーを戻した後、「■異常表示の原因と解除のしかた」を参照してください。	P.12
スイッチは確実に押しましたか？	本書の「■操作のしかた」を参照してください。	P.9
閉ランプ(緑)が点滅していませんか？ 開ランプ(赤)が点滅していませんか？	本書の「■異常表示の原因と解除のしかた」を参照してください。	P.12
ロックが施錠側になっていませんか？	解錠側にしてください。	P.11
手で開閉できますか？	ハンドルを引いて電動開閉に戻してください。	P.13
ガイドレールに障害物はありませんか？	障害物を取除いてください。	P.3
ガイドレール・スラットなどが変形していませんか？	変形している場合はただちに使用を中止し、「■重要なお知らせ」の窓口までご連絡ください。	P.1
連続して開閉しませんでしたか？	10～15分程度休ませてから開閉してください。	P.3
シャッターが凍結していませんか？	凍結している場合は、溶けるまで待ってから作動させてください。無理に作動させると故障の原因となります。	P.3

●お問合わせ先については、P.1「■重要なお知らせ」を参照してください。



# アフターメンテナンスについて

## 修理を依頼される前に

点検および修理を依頼される前に、取扱い説明書の「**■こまったときには**」をご確認ください。

## 保証について

保証期間中は、保証の規程にしたがって修理をさせていただきます。

保証期間中でも有料になる場合がありますので「**■商品保証について**」の内容をよくご確認ください。

保証期間を過ぎている場合は、ご希望により有料で修理をさせていただきます。修理用部品の保有期間が過ぎている場合は、修理ができないこともあります。

## 修理を依頼されるときは

点検および修理を依頼される前に、各商品の「**取扱い説明書**」をもう一度確認の上、それでも故障が直らない場合やご不明な点がある場合は、商品をお求めの施工店、工務店、販売店又は LIXIL 修理受付センターにご連絡ください。その際、下記のことをご連絡ください。

①ご住所・お名前・電話番号

②商品名・品番

③ご購入日又はご入居日

※分譲住宅（建売）、分譲マンションは建設業者から売主への引渡し日となります。

④故障又は異常の内容

⑤訪問ご希望日

## 個人情報保護について

当社は、当社取扱商品のユーザーさま及び流通業者さま等の個人情報を商品納入にあたって取得し、将来にわたる品質保証、メンテナンス、その他当社プライバシーポリシーに記載の目的のために利用させていただきます。個人情報の取扱いについての詳細は、当社オフィシャルサイトの「**プライバシーポリシー**」をご覧ください。

## 点検および修理の依頼先

- ・お求めの取扱い店
- ・製品に表示している連絡先
- ・LIXIL 修理受付センター ☎ 0120-4134-33

## 点検および修理料金のしくみ

修理料金は技術料・部品代・出張料などで構成されています。

技術料は、点検および故障個所の修理および部品交換・調整などの作業にかかる費用です。

部品代は、修理に使用した部品代です。

出張料は、修理士を派遣する場合の費用です。なお修理により交換した部品・製品は、特段のお申し出がない場合は当社にて引き取らせていただきます。

## 修理用部品の保有期間

この商品の修理用部品（機能を維持するために必要な部品・代替品含む）の最低保有期間は、製造終了後 10 年です。

※機器類など専用の取扱い説明書があるものは除きます。添付の取扱い説明書をご確認ください。

室内建具などの扉・引出しなどの面材については、販売終了後 2 年としております。2 年経過後は、新シリーズの面材を供給させていただきます。ただし 2 年に満たない場合でも、面材の供給が難しい場合は、新シリーズの類似面材を供給させていただくこともありますのでご了承ください。

## 交換用部品について

お客様ご自身でお取替えいただける部品については、ホームページよりご注文いただけます。

リクシルパーツショップ <http://partsshop.lixil.co.jp/shop/>

掲載のない部品につきましては、お求めの取扱い店又は当社お客さま相談センター ☎ 0120-126-001 にご連絡ください。

# 商品保証について

本書は、ここに記載の保証期間、保証内容の範囲において無料修理を行うことをお約束するものです。保証期間中、商品に故障、損傷などの不具合(以下「不具合」といいます)が発生した場合には、お取り扱いの施工店、工務店、販売店又は当社お客さま相談センターにご相談ください。

■ 対象商品 サッシ・ドア商品

■ 保証期間 施工者よりの引き渡し日(注1・注2)から2年間(電装部品については1年間)

注1)改修工事の場合は、改修部分の工事完了の日とします。

注2)分譲住宅(建売住宅)・分譲マンションの場合は、建築主様への引き渡し日とします。

\*ただし、「住宅の品質確保の促進等に関する法律」第2条第1項及び第2項に規定する「新築住宅」に取付けられた商品(同法第94条第1項に定める「雨水の浸入を防止する部分」として同法施行令第5条第2項に該当する部分に限る)からの雨水浸入については10年間とします。

■ 保証内容 取扱説明書、本体ラベル又はその他の注意書きに基づく適正なご使用状態で、保証期間内に商品そのものに不具合が発生した場合には、下記に例示する免責事項に該当する場合は除き無料修理いたします。

なお、強風雨時に、サッシ下枠に雨水がたまることがあります。これは商品上の特性であり不具合ではありません。

不具合といえる雨水浸入は、サッシ下枠を越えて雨水が流れ出たり、あふれ出たりすることです。

■ 免責事項 保証期間内でも、次の様な場合には有料修理となります。

①当社の手配によらない加工、組立て、施工、管理、メンテナンスなどに起因する不具合

(例えば、海砂や急結剤を使用したモルタルによる腐食。中性洗剤以外のクリーニング剤を使用したことによる変色や腐食。工事中の養生不良に起因する変色や腐食など)

②お客様の指図による、正規仕様でない特別な仕様にて製作した部分に起因する不具合

(例えば、サッシ・ドアの防犯性能、使い勝手、操作性の低下など)

③表示された商品の性能を超えた性能を必要とする場所に取付けられた場合の不具合

④建築躯体の変形など商品以外の不具合に起因する商品の不具合

⑤商品又は部品の経年変化(使用に伴う消耗、摩耗など)や経年劣化(樹脂部品の変質、変色など)又はこれらに伴うさび、かびなどその他類似の不具合

⑥商品周辺の自然環境、住環境などに起因する結露、腐食又はその他の不具合

(例えば、塩害による腐食。大気中の砂塵、煤煙、各種金属粉、亜硫酸ガス、アンモニア、車の排気ガスなどが付着して起きる腐食。ガラスの熱割れ。強化ガラスの自然破損。異常な高温・低温・多湿による不具合など)

⑦商品又は部品の材料特性に伴う現象

(例えば木製品の反り、干割れ、色あせ、木目違い、ふし抜け、樹液のにじみ出しなど)

⑧天災その他の不可抗力

(例えば、暴風、豪雨、高潮、地震、落雷、洪水、地盤沈下、火災など)による不具合又はこれらによって商品の性能を超える事態が発生した場合の不具合

⑨施工当時実用化されていた技術、知識では予測することが不可能な現象又はこれが原因で生じた不具合

⑩犬、猫、鳥、鼠などの小動物に起因する不具合

⑪引き渡し後の操作誤り、調整不備又は適切な維持管理を行わなかったことによる不具合

(例えば、クレセント・錠などの部品が、使用中にがたついたり異音などが発生し、異常が生じたまま使用し続けたことが原因で発生した傷・破損などの不具合)

⑫お客様自身の組立て、取付け、修理、改造(必要部品の取外しを含む)に起因する不具合

⑬本来の使用目的以外の用途に使用された場合の不具合又は使用目的と異なる使用方法による場合の不具合

⑭犯罪などの不法な行為に起因する破損や不具合

\*保証期間経過後の修理、交換などは有料とさせていただきます。

\*本書によって、お客様の法律上の権利を制限するものではありませんので、保証期間経過後の修理についてご不明の場合は、お取り扱いの施工店、工務店、販売店又は当社お客さま相談センターにお問い合わせください。



## 株式会社 LIXIL

---

商品についてのお問い合わせ・部品のご購入は、お客さま相談センターまで  
受付時間/月～金 9:00～18:00(祝日、年末年始、夏期休暇等を除く)

TEL. ☎0120-126-001 FAX.03-3638-8447

---

- 旭トステム外装株式会社のサイディング材に関する商品相談は  
旭トステム外装(株)サービスデスクナビダイヤル TEL.0570-001-117
- 

修理のご依頼は、LIXIL修理受付センターまで  
受付時間/月～金 9:00～18:00(祝日、年末年始、夏期休暇等を除く)

TEL. ☎0120-4134-33 FAX.☎0120-4134-36

<http://www.lixil.co.jp/support/>

---

### 安全に関するご注意

ご使用前に「取扱説明書」をよくご覧の上、正しくお使いください。また、取付設置工事は「取付設置説明書・施工説明書」に従ってください。いずれの場合も、取り扱いを誤ると事故や故障の原因となります。

### 個人情報保護について

当社は、当社取扱商品のユーザーさま及び流通業者さま等の個人情報を商品納入にあたって取得し、将来にわたる品質保証、メンテナンス、その他当社プライバシーポリシーに記載の目的のために利用させていただきます。個人情報の取り扱いについての詳細は、当社オフィシャルサイトの「プライバシーポリシー」をご覧ください。

---

- 商品改良のため、予告なしに仕様の変更を行うことがありますのでご了承ください。

## 株式会社 LIXIL

会社や商品についての情報のご確認は、LIXIL公式サイトまで

<http://www.lixil.co.jp/>

※ショールームの所在地、カタログの閲覧・請求、図面・CADデータなどの各種情報は、上記公式サイトからご確認ください。

取説番号	MAL-536C	事業所コード	LM18	2013.9.20 発行
------	----------	--------	------	--------------

